

メインITソリューションパートナーを目指して



第24期 中間事業報告書 2011.4.1.~2011.9.30

CRESCO REPORT **2011**

証券コード：4674 株式会社クレスコ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第24期中間期(2011年4月1日～2011年9月30日)の事業報告書を作成いたしましたので、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

当中間期の経営環境は、当初は東日本大震災の影響で、設備投資や消費に対する閉塞感が拭えないまま推移いたしました。後半は復興需要が顕在化し、円高や原材料高、金融市場の低迷といった懸念事項はあるものの、改善基調でございました。

国内のIT需要は、慎重ながらも積極的な姿勢に変化しつつあり、当社企業グループのマーケットも徐々に勢いが戻ってまいりました。

当年度は、**次世代クレスコ**の創生に向けた重要な1年と位置づけ、基本方針に「顧客創造」を掲げて、グループ連携による営業活動の強化、新たなサービスメニューの開発に取り組んでおります。

震災後、ITに対するマーケットニーズはモバイル、クラウドといったネット活用型へと潮流が大きく変化しております。当社企業グループといたしましてはこの変化を追い風とすべく、新たなサービスの提供と戦略的・網羅的な営業活動を展開してまいります。

今後も、企業のメインITソリューションパートナーとして、お客様満足度No1を目指し、みなさまからの信頼とご期待にお応えしてまいりますので、なお一層のご支援のほど、よろしく御礼申し上げます。



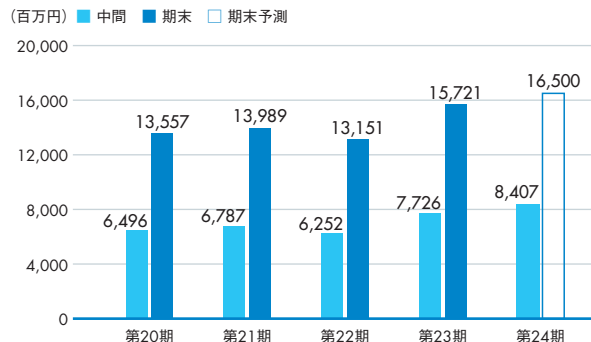
代表取締役会長 兼 社長
岩崎 俊雄

株主のみなさまへ

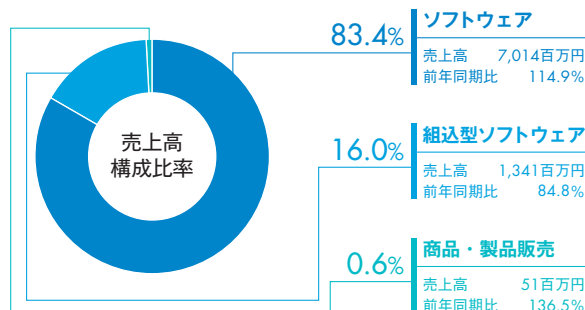
当中間期は、営業強化の一環として、経験者採用や新サービスの開発、試作品開発、新技術研究(モバイル関連)などに、マーケットの動向を鑑みて、優先順位をつけて投資を行ってまいりました。東日本大震災以降、経済の閉塞感が発生し、一時的には案件の減少等がございましたが、受託開発案件やERP(パッケージソリューション)関連の引き合いが増加し、クレスコおよびクレスコ・イー・ソリューションの要員稼働率と売上利益率が大きく改善いたしました。一方、近距離無線分野やソーシャルネットワーク分野を担う子会社業績が伸び悩みました。この結果、売上高84億7百万円(前年同期77億26百万円)、営業利益4億59百万円(前年同期1億97百万円)、経常利益5億20百万円(前年同期3億44百万円)、中間純利益2億28百万円(前年同期1億91百万円)となりました。

売上高

8,407百万円



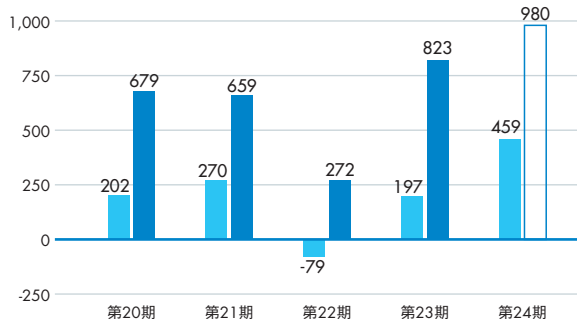
セグメント別売上高・構成比率



営業利益

459百万円

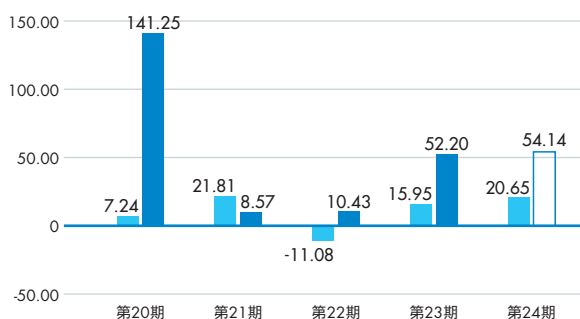
(百万円) ■ 中間 ■ 期末 □ 期末予測



1株当たり純利益

20.65円

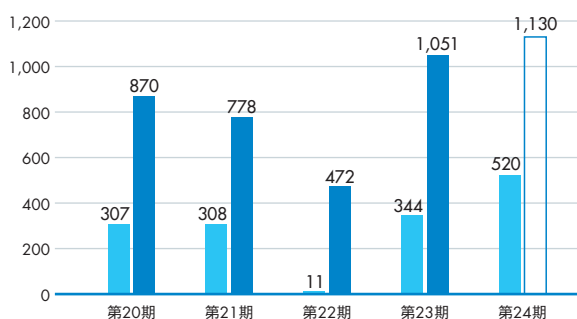
(円) ■ 中間 ■ 期末 □ 期末予測



経常利益

520百万円

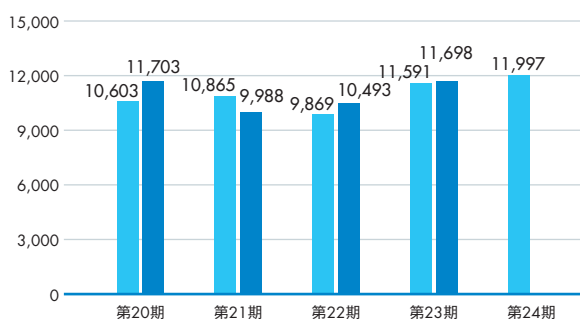
(百万円) ■ 中間 ■ 期末 □ 期末予測



総資産

11,997百万円

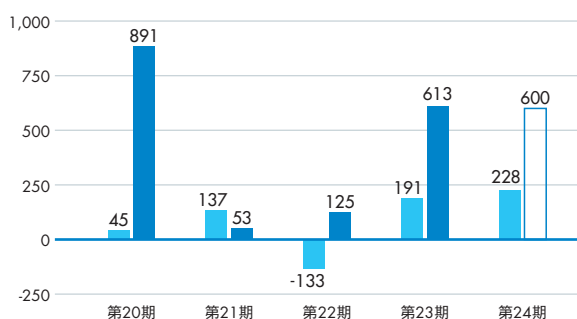
(百万円) ■ 中間 ■ 期末



純利益

228百万円

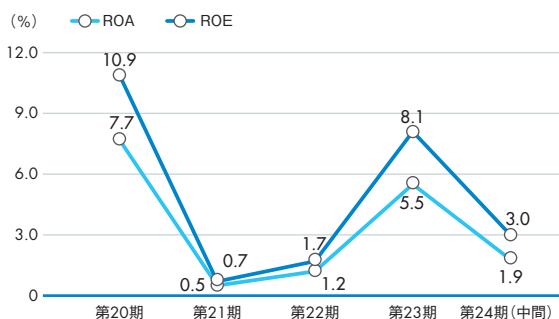
(百万円) ■ 中間 ■ 期末 □ 期末予測



ROA & ROE

ROA 1.9%

ROE 3.0%



中間連結貸借対照表

(単位:百万円未満切捨)

	2010 2011年3月31日現在	2011 2011年9月30日現在
(資産の部)		
1 流動資産	6,208	6,483
2 固定資産	5,489	5,513
資産合計	11,698	11,997
(負債の部)		
3 流動負債	2,273	2,690
4 固定負債	1,751	1,683
負債合計	4,025	4,373
(純資産の部)		
株主資本	7,853	7,981
その他の包括利益累計額	△ 204	△ 379
少数株主持分	22	22
5 純資産合計	7,672	7,624
負債純資産合計	11,698	11,997

1 流動資産

2億75百万円
(前期比)

有価証券が1億12百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が3億6百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ、2億75百万円増加し、64億83百万円となりました。

2 固定資産

23百万円
(前期比)

投資その他の資産の「その他」に含まれております繰延税金資産が1億17百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ、23百万円増加し、55億13百万円となりました。

3 流動負債

4億16百万円
(前期比)

買掛金が2億33百万円、未払法人税等が1億50百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ、4億16百万円増加し、26億90百万円となりました。

4 固定負債

68百万円
(前期比)

退職給付引当金が67百万円増加したものの、長期借入金が1億32百万円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ、68百万円減少し、16億83百万円となりました。

5 純資産合計

48百万円
(前期比)

利益剰余金が1億34百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金のマイナスが1億75百万円増加したことにより、前連結会計年度末に比べ、48百万円減少し、76億24百万円となりました。

中間連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨)

	2010 2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2011 2011年4月1日から 2011年9月30日まで
6 売上高	7,726	8,407
売上原価	6,693	7,097
売上総利益	1,033	1,309
販売費および一般管理費	836	850
営業利益	197	459
営業外収益	156	74
営業外費用	9	13
経常利益	344	520
特別利益	108	17
特別損失	168	92
税金等調整前中間純利益	284	445
法人税、住民税および事業税	117	228
法人税等調整額	△ 24	△ 11
少数株主損益調整前中間純利益	190	228
少数株主利益	△ 0	△ 0
中間純利益	191	228

6 売上高

1. ソフトウェア開発事業

売上高は70億14百万円(前年同期比14.9%増)、セグメント利益(営業利益)は6億35百万円(前年同期比64.2%増)となりました。業種別の売上高を比較しますと、主力の金融分野は銀行および保険業の案件が増加し、前年同期を7億71百万円上回りました。公共サービス分野は前年同期を2億22百万円上回り、流通・その他の分野は前年同期を85百万円下回りました。

2. 組込型ソフトウェア開発事業

売上高は13億41百万円(前年同期比15.2%減)、セグメント利益(営業利益)は1億64百万円(前年同期比10.8%減)となりました。製品別の売上高を比較しますと、通信システム分野は通信端末の開発案件が減少し、前年同期を1億29百万円下回りました。カーエレクトロニクス分野は車載関連の案件が減少し、前年同期を2億79百万円下回りました。情報家電等、その他組込型分野は、前年同期を1億68百万円上回りました。

3. 商品・製品販売

売上高は51百万円(前年同期比36.5%増)、セグメント損失(営業損失)は20百万円(前年同期セグメント損失36百万円)となりました。

	2010	2011
	2010年4月1日から 2010年9月30日まで	2011年4月1日から 2011年9月30日まで
7 営業活動によるキャッシュ・フロー	156	502
8 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 86	△ 163
9 財務活動によるキャッシュ・フロー	463	△ 265
現金および現金同等物の増減額	532	68
現金および現金同等物の期首残高	2,393	2,446
現金および現金同等物の中間期末残高	2,926	2,514

7 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加による支出が3億6百万円あったものの、税金等調整前中間純利益が4億45百万円となり、仕入債務の増加による収入が2億33百万円あったことにより、5億2百万円の収入(前年同期1億56百万円の収入)となりました。

8 投資活動によるキャッシュ・フロー

有価証券の売却による収入が1億47百万円、投資有価証券の売却による収入が2億3百万円、投資有価証券の償還による収入が1億9百万円あったものの、有価証券の取得による支出が1億74百万円、投資有価証券の取得による支出が5億12百万円あったことにより、1億63百万円の支出(前年同期86百万円の支出)となりました。

9 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期借入れによる収入が1億20百万円あったものの、短期借入金の返済による支出が1億50百万円、長期借入金の返済による支出が1億32百万円、配当金の支払額が90百万円あったことにより、2億65百万円の支出(前年同期4億63百万円の収入)となりました。

配当方針

当社は、株主のみならずに対する利益還元を経営の重要課題と位置付けており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を継続することを基本方針としております。配当に関しましては、原則当社の経常利益をもとに特別損益を零(ゼロ)とした場合に算出される当期純利益の40%相当額を継続的に実現することを目指してまいります。

スマートフォンビジネスセンターを開設

最近話題となっている、スマートフォン(高性能携帯電話)やタブレットPC(多機能携帯端末)を利活用した幅広いサービスを提供すべく、組込型ソフトウェア開発事業を手掛けるエンベデッドソリューション事業部に、「スマートフォンビジネスセンター」を2011年10月1日付にて開設いたしました。他社に先駆けて取り組んできたスマートフォン開発に関する経験と、組込型ソフトウェア開発で蓄積したノウハウを活かし、スマートフォンの利活用に関する様々な場面で、企画から利用に関する支援サービスをご提供いたします。

「スマートフォン&タブレット2011秋」に出展

2011年10月12日(水)～10月14日(金)の3日間、東京ビッグサイトにて開催されました日経BP社主催「スマートフォン&タブレット2011秋」に出展いたしました。スマートフォンとタブレットの専門展示会としては規模も大きく、多くの方にご来場いただきました。クレスコは、セミナーではタブレットPCの活用を発表し、また、展示ブースでは新感覚フォルダウェアとして販売中の「インテリジェント フォルダ」をご紹介させていただきました。



<http://solution.cresco.co.jp/if/>

**ホームページのご案内**

IRページをリニューアルいたしました。最新のIR情報や財務データ、決算関連資料を掲載しております。ぜひ、ご利用ください。

<http://www.cresco.co.jp/>

会社の概要

(2011年10月1日現在)

商号	株式会社 クレスコ
設立	1988年4月
資本金	2,514百万円
従業員数	937名
本社所在地	〒108-6026 東京都港区港南2丁目15番1号 品川インターシティA棟25階～27階 03-5769-8011
事業所	<ul style="list-style-type: none"> ■ 横浜センター 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目3番19号 新横浜ミネタビル5階 045-474-0982 ■ 北海道開発センター 〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西3丁目1番地 札幌北三条ビル11階 011-200-5550
事業内容	<p>情報処理システムに関する</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ コンサルティングおよびソリューションサービス業務 ■ 設計、開発業務 ■ 運用管理、保守業務 ■ 調査、分析、評価および技術支援業務

役員

(2011年10月1日現在)

代表取締役会長 兼 社長	岩崎 俊雄
取締役副会長	熊澤 修一
常務取締役	丹羽 蔵王
常務取締役	根元 浩幸
取締役	山田 則夫
取締役	木村 孝之
取締役	日高 健治
取締役	高橋 一次
取締役	水谷 浩二
取締役	谷口 義恵
常勤監査役	波多腰 茂
監査役	臼井 義眞
監査役	井手 正介
監査役	戸田 秀明

(注) 取締役水谷浩二は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

(注) 監査役臼井義眞、監査役井手正介および監査役戸田秀明は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

連結子会社

(2011年10月1日現在)

	<p>クレスコ・イー・ソリューション株式会社</p> <p>設立 1998年9月 資本金 2億円</p>
	<p>ワイヤレステクノロジー株式会社</p> <p>設立 2005年10月 資本金 5,000万円</p>
	<p>株式会社クレスコ・コミュニケーションズ</p> <p>設立 2006年4月 資本金 5,000万円</p>
	<p>クレスコ・アイディー株式会社</p> <p>設立 2011年4月 資本金 1億円</p>
	<p>株式会社アイオス</p> <p>設立 1989年6月 資本金 3億1,336万円</p>
	<p>株式会社インフィニード</p> <p>設立 2005年9月 資本金 1,700万円</p>

株式の状況

(2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	34,000,000株
発行済株式の総数	11,083,276株
	(自己株式2,116,724株を除く)
株主数	3,344名

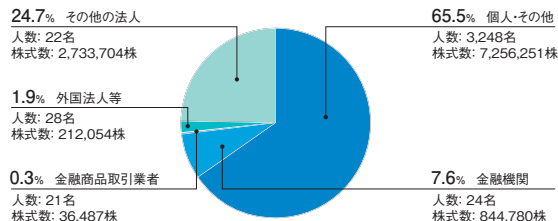
大株主

(2011年9月30日現在)

株主名	持株数(百株)	議決権比率(%)
有限会社イワサキコーポレーション	27,054	24.55
浦崎 雅博	14,818	13.45
岩崎 俊雄	10,251	9.30
佐藤 和弘	5,828	5.29
クレスコ従業員持株会	5,282	4.79
田島 裕之	4,448	4.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,508	1.36
波多腰 茂	1,233	1.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	831	0.75
三菱UFJ信託銀行	686	0.62
明治安田生命保険相互会社	686	0.62

所有者別株式分布状況(自社保有分を除く)

(2011年9月30日現在)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	日本経済新聞社に公告いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いたします。

